

横田基地での人員降下訓練について（口頭要請）

令和8年6月11日（木）、防衛省北関東防衛局より、令和8年6月15日（月）から18日（木）まで横田基地において、横田基地所属のC-130スーパーハーキュリーズおよびCV-22オスプレイからの人員降下訓練が実施されるとの情報提供がありました。

このことに関しては、昨年11月、降下訓練における場外への降着やパラシュートの落下が発生したことを受け、パラシュート降下に対する市民の不安は大きくなっています。また、横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、市民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けています。

については、市民の平穏な生活および安全を確保する観点から、次のことを要請します。

記

- 1 訓練を実施する時間、使用する航空機の機数および降下人数等について、より詳細な情報を本市に提供すること。
- 2 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は実施しないこと。また、CV-22オスプレイは令和5年に発生した墜落事故等によって、安全性に対する市民の不安が大きいことを踏まえ、最大限の配慮をすること。
- 3 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識させるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機、パラシュートおよび装備品・使用機材等の安全確認は徹底すること。
- 4 必要最小限の機数および人員での訓練を実施すること。

令和8年6月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード・F・マックエルハニー大佐 殿

青梅市長 大勢待 利 明